

白梅
會報

令和7年6月10日
石巻市貞山3-4-1
宮城県石巻好文館高等学校
同窓会
TEL・FAX0225(23)1359



好文木

すなわち梅

佐々木 多佳子



夏を迎えました。
青葉が目にあざやかな初
皆様におかれましては、
ますますご清栄のこととお
喜び申し上げます。

さて、令和6年度9月実施の同窓会総会には、5年振りに石巻グランドホテルを会場に行われ、懇親会も再開しました。懇親会では、飲食を伴うため当番学年とグランドホテルのスタッフの方に、コロナウイルス感染症における対策を、万全の体制で取り組んでいたいただき、無事に総会を終えることが出来ました。

総会には、大勢のご来賓の方々、そして幅広い年令の会員の皆様から、多数ご来賓が御出席下さいました。諸物価も高騰しておりました。同総会の会計も、赤字が続いておりました。平成29年度に特別会計から100万円を充当し、その繰越金で会計が成り立っておりますが、現状では今後も特別会計に頼らざるを得なくなると判断し、会費の見直しをご提案申し上げます。総会においても様々な貴重なご意見をいただきました。そのうえで皆様のご承認により、43年ぶりに会費に関する規約が改定されお祈り申し上げます。

式が、3月29日に桃生公民館でありました。保存会では、伝統継承への決意を新たにされたようです。

今年の本部の総会は、お彼岸中に設定せず、10月4日(土)に開催いたします。今までお彼岸の忙しさを参加できなかった方も是非ご出席下さい。皆様を心よりお待ちしております。

最後になりましたが、母校の益々のご発展と、皆様のご健勝ご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

の未来を支えることにつながる ことです。

及 川 徹



同窓会の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に多大なる御理解と御支援を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

本校は、今年、創立114周年

佐々木多佳子様をはじめ多数の同窓生の皆様の御臨席を賜り、おかげさまでももちまして、厳肅なうちにつがなくて式を終えることができました。式辞では、私から新入生へ三つのメッセージを送りました。一つ目は、本校の校訓である『自発能動』『二事實行』『醇朴成徳』を私の言葉で紹介しました。二つ目は、健康について、心身ともに健康で過ごすことは、一人ひとりの未来、日本の未来、引いては、世界

ました。

年度当初、全教職員と、スクールミッション、スクールポリシー、校訓、校是を基盤として、健康、安全安心を第一に掲げ、全人教育と進学支援指導の両立、生徒一人ひとりの潜在能力に働きかける支援指導及び豊富な活用機会と試行錯誤場面の設定など、今年度の重点目標を共有して、「とことん好文館、いざ好文館」を合い言葉に、滞りなく教育活動をすすめていると申し上げます。

部の皆様の御協力と御支援をいただきながら、東日本大震災影響の被災地にある高校として、防災教育のさらなる充実と地域復興の担い手、そして甲斐ある人となつて社会で活躍する人材の育成など、時代の求めと国民の負託、そして同窓会の皆様の御期待に応えられますよう教育活動を展開して参ります。

本校同窓会の御発展と会員各位の皆様の御健勝をお祈り申し上げます。

部の皆様の御協力と御支援を
いただきながら、東日本大震災
の被災地にある高校として、防
災教育のさらなる充実と地域
復興の担い手、そして甲斐ある
人となって社会で活躍する人
材の育成など、時代の求めと県
民の負託、そして同窓会の皆様
の御期待に応えられますよう
教育活動を展開して参ります。

本校同窓会の御発展と会員
各位の皆様の御健勝をお祈り
申し上げます。

同窓会入会式

人生の節目ともいえる、高校の卒業式を翌日に控える生徒たち、体育館に整然と並ぶその背中へ、なんだかとてもたくましく、凜として美しく感じた2月28日に、今年も同窓会入会式が行われました。今年度は、77回生となる194名の入会者をお迎えしました。新同窓生を加えますと、本学の卒業生は、旧制高等女学校も合わせて、総計26、957名となります。

石巻地区唯一の進学重視型単位制の高校として新校舎で学んだ3年間、生徒たちは、早くから自分たちの得意教科を見定め、2年次からは理系と文系の選択群に分かれて学び、自分の目指す進路に向かってきました。今、まさにそれらの課題をクリアし、希望する進路に羽ばたこうとしている生徒たちは、とても大人びていて、その輝く瞳は、この先の未来を見つめているように感じました。

同窓会入会者代表の高橋さんの挨拶では、これから先の未来を見据え、「甲斐ある人になる」という強い決意が語られ、これからの活躍が楽しみです。



木村美保子

出会いへの感謝と決意



布施孝介

この度の異動で、佐沼高校から赴任いたしました。石巻地区での勤務は初めてとなります。着任初日、校地内で生徒とすれ違う際、強く思いました。

「一瞬怪しまれるかな?」と思ひましたが「おはよう」と声をかけたところ、元気な挨拶と一緒に「新しくいらした先生ですか? よろしくお願ひします!」と、気持ちの良い言葉が返つてきました。ほんの少し勇気を出します。

令和6年度同窓会総会

還暦の仲間たちと

昭和58年卒 坪井(松本)恵理

卒業から42年。同窓会当番学年の私達は還暦を迎えました。校歌にあります『甲斐ある人と言はれなむ』をデザインしたTシャツを着用し、時を経てあの頃のままでの笑顔を見せてくれる仲間達とあつという間に石女時代にタイムスリップした気持ちになりました。

総会では会費等の課題について貴重なご意見が沢山ありました。何度も話し合いを重ねご尽力頂いた役員の皆様には心から感謝申し上げます。

今回のアトラクションは『はねこ踊り』をご披露頂きました。桃生中が新任地の私は懐かしくパワフルな気持ちになりました。

記念のお土産は女川の支援学校の生徒達が手作りしたブイボールでした。ブイは海に浮かぶ丸いブイを表しており、つなぐ、支えると言う意味があるそうです。今、私は横浜の小学校で支援クラスの支援員と地域の民生委員をしています。同窓会のすぐ後に開催

した高齢者サロンでは「甲斐ある人」のTシャツを着て石巻や女川の話をしながら、このブイボールを一つずつ食べて頂きました。人と人との温かい繋がりが寄り添う気持ちを大切に、これからも活動していきたいと思っています。

私の祖父(高橋信)は長年石巻女子高等学校の生物の教師をしていました。母(松本玲子)は高校教師を退職後、白梅の同窓会の副会長をしておりました。晩年は難病を患いとても辛い時期もありましたが、最後まで白梅の編集委員に携わっていた事は母の生き甲斐だったと思います。

素晴らしい先輩方が築いてこられた白梅の同窓生である事に誇りを持ち、『甲斐ある人』をこれからの目標に一日一日を大切に過ごしています。

素晴らしい先輩方が築いてこられた白梅の同窓生である事に誇りを持ち、『甲斐ある人』をこれからの目標に一日一日を大切に過ごしています。

我らも共にいそしみて

平成10年卒 千葉 裕子

令和5年の5月にコロナが5類に移行され「アフターコロナ」に転換しつつある中、当番学年として右も左もわからないまま、総会準備会や学年幹事会等、集合型の会に参加させていただきま

した。まず最初に驚いたのは先輩方の志の高さや団結力、行動力の高さです。5年ぶりとなるグラントホテルでの懇親会やアトラクションを含む同窓会総会は、コロナ以前とは違い、全てにおいての価格値上げの時期に開催されるという異例の難しさもあつたと思います。なおかつ5年という休止期間を経ての開催ですが、引き続き感染予防や安全面での配慮等、実施内容の決定までの道のりや準備の難しさは、

恩師の先生方やご友人同士で写真撮影をされていたり、再会を喜ばれている姿には胸が熱くなったのを覚えています。

恩師の先生方やご友人同士で写真撮影をされていたり、再会を喜ばれている姿には胸が熱くなったのを覚えています。

甲斐ある人と言はれなむ

していきたいと思います。同窓会総会にご尽力頂きました役員の皆様、当番学年の皆様、ありがとうございました。

令和6年9月21日(土)石巻グラントホテルに於いて、令和6年度同窓会総会を開催いたしました。恩師を始め、各支部の方々と昨年の卒業生など総勢207名の参加となりました。

議長団のスムーズな進行により、議案の承認が進み、会費の払い込みや白梅会報の送付などについても、見直すべき貴重なご意見をたくさん頂きました。

参加された皆様は、楽しくお食事をされながら、恩

年の皆様、そして同窓会にご参加頂いた皆様、本当にありがとうございました。

令和6年度同窓会総会を開催いたしました。恩師を始め、各支部の方々と昨年の卒業生など総勢207名の参加となりました。

議長団のスムーズな進行により、議案の承認が進み、会費の払い込みや白梅会報の送付などについても、見直すべき貴重なご意見をたくさん頂きました。

参加された皆様は、楽しくお食事をされながら、恩

参加された皆様は、楽しくお食事をされながら、恩



同窓会会費を改定いたします

昨年9月の同窓会総会においてご承認いただきました、同窓会会費の改定についてお知らせいたします。

会費	年会費	2,000円
	終身会費	30,000円

今期より、コンビニエンスストア、郵便局、スマホ決済からのご送金ができるようになりました。

令和5年度 宮城県石巻好文館高等学校同窓会決算書

自 令和5年9月1日／至 令和6年8月31日

〔収入の部〕 (単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
1. 入会金	1,036,200	1,009,200	△ 27,000	在校生 @600×552名 @1200×565名
2. 会費	2,000,000	1,665,280	△ 334,720	同窓生 終身会費43名 数年会費13名 年会費867名
3. 繰越金	102,126	102,126	0	前年度より
4. 特別会計より	300,000	500,000	200,000	
5. 雑収入	74	214,771	214,697	寄付金・預金利息・サーモボトル他
合計	3,438,400	3,491,377	52,977	

〔収入の部〕 (単位：円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
1. 事務費	790,000	848,418	58,418	
会議費	10,000	23,810	13,810	支部総会、学年幹事会
印刷・消耗品費	20,000	53,212	33,212	コピー用紙、インクカートリッジ他
通信費	130,000	130,004	4	電話料、切手他
旅費	60,000	65,840	5,840	学年幹事会、関東支部総会
事務手当	550,000	550,000	0	事務員給与
雑費	20,000	25,552	5,552	在校生卒業アルバム代、車両費他
2. 事業費	2,640,000	2,553,168	△ 86,832	
会報発行費	1,700,000	1,828,022	128,022	印刷・発送費
総会費	300,000	300,000	0	総会費補助
支部助成費	250,000	130,000	△ 120,000	関東支部他2支部
生徒助成費	150,000	35,000	△ 115,000	大会出場、生徒会誌補助
新入会員歓迎費	230,000	245,700	15,700	入会記念品
慶弔費	10,000	14,446	4,446	弔電・饗別
3. 予備費	8,400	0	△ 8,400	
合計	3,438,400	3,401,586	△ 36,814	

(収入額) (支出額)
3,491,377 円 - 3,401,586 円 = 89,791 円 (次年度へ繰越)

令和5年度 事業報告

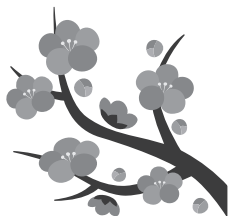
年月日	事業内容	会場
令和5年9月16日	令和5年度同窓会総会	本校白梅ホール
11月6日	役員会・総会反省会	同窓会室
令和6年1月29日	役員会・総会準備会	同窓会室
2月29日	新入会員入会式(189名)	母校体育館
2月29日 ～6月10日	白梅編集委員会	同窓会室 メールなどにて編集作業
4月22日	役員会・総会準備会	本校大会議室
6月7日	役員会	同窓会室
6月10日	会報「白梅40号」発行	
6月15日	学年幹事会	本校白梅ホール
9月6日	役員会・総会準備会	同窓会室

◎生徒会補助

- (1) 新入会員へ「白梅マーク入り袱紗」贈呈
- (2) 生徒会誌「白梅」発行への補助
- (3) 全国・東北大会出場の部への補助
陸上部・・・特別全国障害者スポーツ大会

◎慶弔饗別

- ・弔電 4通
- ・転出者、退職者教職員への饗別(同窓会関係) 1名



たくさんさんの

縁をいただいて

在職年：平成4年4月5日
平成16年3月

千葉 久美子（養護教諭）



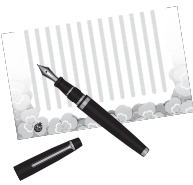
昭和45年4月、私は石巻女子高に入学しました。新しい校舎は輝きを放ち、昇降口を入ると、二手に分かれた赤い階段が印象的でした。当時、羽黒山の校舎から新校舎に移転して2年が経ち、校庭はまだ整備中で、全校生徒で草

取りを行うのが恒例行事となっていました。そして縁あって、平成4年から母校に職員として勤務することになりました。生徒時代に過ごした校舎はほとんど変わらず、恩師の先生方も多く在職されており、「恩師」が「同僚」となるという、何とも不思議な感覚を抱きました。高校時代、私はソフトボール部に所属しており、監督の草薙先生も当時在職されていたため、廊下ですれ違うたびに思わず最敬礼してしまうことがよくありました。

て教室に戻さなければ」という焦りを感じつつ対応していましたが、生徒に「寄り添う」余裕はなく、振り返ると冷や汗が出ることばかりです。しかし、卒業生から「保健室があったから今がある」といった感謝の手紙をいただいたり、私と同じく養護教諭を目指す生徒がいたりして、石巻女子高で過ごした12年間は、私の「養護観」を大きく成長させる貴重な経験となりました。また、趣味で続けている書道を通じて部活動にも参加させていただき、今でも一緒に稽古をしている卒業生もいます。

いう役割があり、私も同窓会運営に関わらせていただきました。そこで、大先輩方が母校を誇りに思う強い絆を目的の当たりにし、私の中で母校への愛情がますます深まりました。現在、私は宮城学院女子大学で養護教諭・保健体育教諭を養成する学科で教鞭をとっています。この仕事を通して感じることは、震災やコロナ禍を経て、「社会」や「学校」は大きく変化しましたが、人と人との「縁」は不変だということ。この「縁」を繋ぐ力がこそ、これから生きる礎となることでしょう。同窓生の今後ますますのご活躍を祈念いたします。

恩師からのお便り



楽しく、充実した最高の9年間！

在職年：平成13年4月5日
平成22年3月

小山 栄（英語）



110年を超える歴史と伝統のある学校にしてみればほんのわずかとはいえ、私は平成13年から21年までの9年間お世話になりました。その間、学校の大きな転換期に携わらせていただいた経験が、その後の教員生活の大きな糧となったことは

間違いありません。私が石巻女子高校に赴任したのは、26歳。石巻出身の私にとって名門「石女」で教鞭をとることとは、たいへん名誉なことと身が引き締まる思いでした。勤務をしていて特に思い出深かったのは、なんとといっても女子校のパワーです。応援団の凛とした姿、新入生対面式での各部のパフォーマンス、体育祭での盛り上がり、文化祭での展示物や模擬店など、どれをとっても生き生きと活動する生徒の表情は忘れられません。また、部活動においても地区大会で勝つのはあたりまえの雰囲気があり、全競技で優勝したこともあったと記憶

しています。私は剣道部の顧問として、生徒たちと共に汗を流しました。きつい練習を乗り越え、東北大会などで活躍する生徒たちの姿は私自身をも成長させてくれました。赴任6年目に「石巻好文館高校」への校名変更と男女共学化を迎えました。当時、職員会議では、教育活動や制服、部活動など様々な課題について熟慮を重ねました。1期生の男子は40名弱。私は幸運にも初めての男子の入学生を3年間担任させていただきました。成長著しい青春期の男子は伝統に新しい風を吹き込み、さらに学校を発展させてくれる存在となりました。振り返れば、青春

時代を謳歌する生徒たちのエネルギーと情熱、たくましさや輝きに心動かされる9年間でした。出会った生徒たちは努力を惜しまず、目指す進路を達成していきました。数年前、担任をした生徒が特集されたテレビ番組を見ました。同じ教員として活躍する生徒にも出会えることができたのはとてもうれしいものです。この素晴らしい学び舎、石巻好文館高校がさらに発展し、これからも多くの生徒たち、そして教員にとってかけがえのない場所であり続けることを願ってやみません。

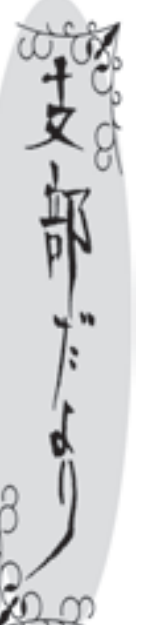
関東

総会時期の見直し

昭和49年卒 新谷(岩瀬)泰子



昨年7月の第63回関東支部総会にて支部長に選任されました、昭和49年卒の新谷泰子でございます。女川出身の同期生、佐々木(高橋)美紀さんを副支部長に、役員のチームワークで「東京しらうめ会」の運営に当たりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。さて、数年ぶりに再開され



山形

山形支部のこれから

昭和56年卒 千葉(榊原)ゆか

同じ空間で多感な時期を過ごし、進学で山形にいらしていても「同窓」という温かく頼もしいつながりを私たちが与えてくれます。ここ山形で諸先輩方が作ってくださった支部は、いつも温かく楽しく頼もしい場所です。私がその端っこに入っていたから30年以上の時間が流れました。色々なことが起きました。悲しいお別れも経験してまいりました。コロナ禍が落ち着いたとはいえ、年齢を重ねられた先輩方をおひとりでの外出を控えられるのか、山形支部の集まりは数年お休みしている状態です。ご連絡を差し上げると、お元気な声を聞かせてくださるもの、集まりへの参加は遠慮される方がほとんどです。お隣の県ということもあ



仙台

再会の笑顔で合唱を

昭和44年卒 石垣(岡本)裕子

令和6年の仙台支部総会は65周年を迎え無事10月27日に開催されました。コロナの蔓延により4度の開催中止を余儀なくされ5年ぶりの再始動となりました。当日の会場には、久しぶりに集う同窓生どうしの笑顔がいっぱい。私もうれい思いが込み上げてきました。今回のアトラクションは全員に参加していただきました。まずはハズレなしのお楽しみ「抽選」です。色々石巻名産品等が皆に当たり大盛り上がりでした。次は、歌詞カードを手軽にかなえ、クローンの伴奏に合わせ、なつかしい楽曲を大声で合唱しました。音痴の私でも皆と一緒に歌ううちに体と心までほぐ



支部連絡先

【関東支部】新谷 泰子

TEL 090-9857-4923
〒270-0034 千葉県松戸市新松戸7-221-5-D-804
E-mail: sekijo.koubunkan@gmail.com

【山形支部】千葉 ゆか

TEL 090-2846-6862
〒990-0021 山形県山形市小白川町4-30-3 榊原様方

【仙台支部】齊藤 きえ子

TEL 090-2846-6862
〒981-3341 宮城県富谷市成田7-19-10

白梅それぞれのかがやき

「オラにできること」

昭和54年卒 東城エリ子



私達の当番学年の年、私は遠く離れた千葉で仕事をしていても関わる役割として、ポスターや同窓会資料の表紙、チケットのデザインを担当しました。その時のコンセプトとして、羽黒山時代の大先輩方、南谷地に移ってからの同窓生の方々も、共学となった石巻好文館高校の後輩達にも、ぜひ同窓会に参加いただくために、その共通項として、「校章」「校歌」「白梅」

今年で帰郷して5年が過ぎます。帰郷した翌月からのコロナ禍の時には、「帰省」と「帰郷」との違いを実感しながら、震災時とはまた違う意味での「日常」の大切さを感じました。現在は、両親の介護を通して、「若い」と地域包括ケア

をモチーフに製作しました。白梅は、私達の高校のシンボルツリーです。校章も白梅です。卒業式の時には、入学した年の梅の実で作った梅酒ゼリーをいただきました。白梅は、別名を「好文木」と言い、中国の皇帝が勉強しないと花は咲かず、勉強すると花を咲かす花木であるという故事から、白梅は勉強を好む木「好文木」と名付けられたそうです。

毎日勉強。毎日が青春。地元の同窓生の皆さんの震災当時もその後も「前に進もう」というエネルギーとチームワークみんな「オラにできること」をそれぞれ頑張っている姿には、いつも励まされています。「甲斐ある人と言われなむ」を合言葉に、これからも頑張ってくださいませ！



「憧れから力をもらおう」

平成4年卒 後藤 麻子



事に卒園児を送りだすことができました。

現在、保育とはかけ離れた新しい道へ進み、憧れだったフリーアナウンサーとして、仙台市内を中心に、テレビのレポーターとしておよそ15年活動し、司会者としても元気で明るいトーンでわかりやすいアナウンスを心掛けてきました。婚礼の司会では1500組を超える新郎新婦様の披露宴での、幸せあふれる時間のお手伝いをさせていただき、アナウンスの力を用いて、二人に光をあてられるよう工夫を凝らしています。こうして出会った皆さまからパワーを頂き自分の力として蓄え、司会をさせてもらえる幸せと責任も実感しています。子ども

勉強が苦手なのに入学を希望し猛勉強の末、あこがれの宮城県石巻女子高等学校へ。受験勉強中、後悔したくない思いが強く、人生で一番勉強に力を注いだことを懐かしく思います。3年間の自転車通学で体力もつけることができた、充実した時間でした。

高校卒業後、県外の短大の保育科での過程を経て、取得した免許を活かし幼稚園に就職。未来ある子どもたちの成長の手助けは、喜びが多く無

システムを学び、私が石巻を離れている間に両親が町内会で頑張ってきたことを今度は私が引き継いでいます。

また、高校卒業後に身につけたスキルを子ども達に還元するために、放課後等デイサービスで働きながら、図書館での読み聞かせボランティアや造形教室の出前ワークショップを開催しております。

毎日勉強。毎日が青春。地元の同窓生の皆さんの震災当時もその後も「前に進もう」というエネルギーとチームワークみんな「オラにできること」をそれぞれ頑張っている姿には、いつも励まされています。「甲斐ある人と言われなむ」を合言葉に、これからも頑張ってくださいませ！

もの頃からコンプレックスを感じていた、太く低い声質を役立て「聞き取りやすかった」と言ってもらえることがうれしくて、続けてこられました。続けられる喜びや、続けてきたからこそ、見える景色があることも知ることができました。これも、厳しい高校受験に臨んだことが土台になり、憧れに近づきたい気持ちが強かったからこそ、突き進んでこれたと感じています。これからも、未来の自分が過去の自分に、よくやったと思うことができるよう、憧れを追い求め輝けるよう歩んでいければと思います。

コラムのご依頼、非常にうれしく感じています。ありがとうございます。

最後にみんな練習したあのエール。

石女一 石女一 selujio gauba fight 今、自分へのエールにしています！



「私の人生、これまでとこれから」

平成21年卒 ホワイットヘッド(相澤)枝穂



石巻好文館高校の1期生として入学し、早20年になるとうとしています。尊敬する祖母と母の母校である旧石女に入学できたことは私にとっての誇りであり、友達にも恵まれ、本当に楽しい日々でした。高校で学んだことが今の私を形成してくれていると実感しています。2015年に株式会社七十七銀行から転職し、現在は日本航空(JAL)の客室乗務員として国内線・国際線に勤務しながら、JALふるさとア

ンバサダーとして2024年4月から仙台に移住をし、東北の魅力を生世界・全国へ発信することや、東北の方々にJALを身近に感じていただけるような活動をしてあります。1年の任期なので、こちらが皆さまのお手元に届くころにはまた空の仕事に戻ってしまっているのですが、この1年間は本当に濃い実り多き1年でした。石巻かほくの「つつじ野」での連載などいろいろな活動をさせていただいた中で、一番大きなイベントが「株式会社鐘崎」さんとの共同開発商品「仙臺BLACK」を3月に発売したことです。こちらは、石巻の「末永海産株式会社」さんの美味しいのに廃棄されてしまっていたわかれと、石巻出身のデザイ

「人のために」

平成25年卒 吉田 潤



事をするのであれば人の役に立ちたいと考えていた私にとって自分の地元である石巻地区で消防士として働くことは充実したものであり、かけがえのない経験をたくさんさせてもらいました。

しかし、さらに直接的な医療行為で人を助けたい気持ちが強くなった私は、三十歳にして看護学校に入学しました。

まさに今、好文館高校に在学している十代の生徒と変わらない世代に混じって自分を高めています。

私は、石巻好文館高校を卒業後に消防士として石巻地区で約十年間勤務後に退職し現在は仙台市泉区にある仙台市医師会看護専門学校で看護師免許取得に向けて勉強に励んでいます。高校在学中から仕

ナー大澤さん(石女卒)にご協力いただいて発売にいたしました。中身は真っ黒な笹かまぼこで、前述のわかれも入っています。石巻出身の私がJALふるさとアンバサダーに着任したからには、石巻へ恩返しをしたいと思っていたので、とても思い入れのある商品となりました。今のところ仙台でしか購入ができないので、仙台に行かれた際にはぜひお手に取ってみてください。

そして任期を終えこれからは、アメリカ人の旦那さんと5月からアメリカでの生活になります。15歳の私には想像できなかった生活ですが、もまれながら、たくましく成長し、いつか石巻に戻って、何らかの形で貢献したいと思っています。



れると強く感じます。

私には、皆が住む場所や周りの環境に左右されず平等な医療を受けられるようにするという夢があります。この夢を叶えるためには病院や診療所までの距離の短縮、医療従事者のさらなる専門性の取得など課題がたくさんあります。自分一人ではたどり着けないことも理解しています。

しかし、高校時代に自分が経験し感じたこと、消防士時代に現場で手に入れたもの、そして今の周りのメンバーに学ばせてもらっていることを合わせれば必ずたどり着けると信じています。

冒頭の及川校長先生との会話だけでなく好文館高校での生活は今の自分の人生の礎となっているでござい

がたくさんあります。

その一つ一つを大切にしながら必ず自分は人のためになるという強い「気持ち」を持って日々精進していきたいと思っています。



今母校では…

女子バレー部

己に勝れ

2年 熊谷 彩花

私たち女子バレーボール部は、3年生3名、2年生7名、1年生3名、マネージャー1名の計14名で顧問の先生方ご指導のもと地区大会優勝、県大会ベスト16を目標に日々練習に取り組んでいます。部員同士仲が良く、互いに励まし合い、笑いが絶えない活気あふれる部活です。

昨年11月に行われた地区新人大会では3位、1月に行われた県新人大会ではベスト16に入ることが出来ず悔しい結果となりました。この悔しさをバネに一人ひとりが常に緊張感を持って意欲的に練習し、努力を積



硬式野球部

野球部紹介

3年 千葉 隼大

私たち硬式野球部は、顧問の松嶋先生・大越先生のもと、平日は校庭で、休日は石巻北高校第2グラウンドをお借りして活動しています。人数は9名+マネージャー1名と少ないながらもチーム一丸となって練習に取り組んでいます。

好文館高校にはグラウンドがありません。しかし、限られた中で考え、練習することは非常に面白いです。雨や校庭が使えない日は、室内でトレーニングをするなど、工夫を凝らして練習を行っています。人数が少ないからこそその利点を



マンドリン部

高みを目指して

3年 山内 花南

私たちマンドリン部は、3年生5名、2年生3名、1年生4名の計12名で活動しています。現在、5月18日に行われる定期演奏会に向けて、少ない人数ではありますが、力を合わせて練習に励んでいます。

昨年度は市内外で行われた様々なイベントに出演させていただきました。特に印象に残っている宮城県高等学校音楽祭では、部門2位を受賞することができました。立派なホールでの演

家庭生活部

家庭生活部の活動

3年 小山 野乃

私たち家庭生活部は3年生16名、2年生7名、1年生6名の計29名で活動しています。週に1回という少ない時間の中で部員同士協力し、よりよい作品づくりに励んでいます。

主な活動は、文化祭に向けたクラフトワークと部活動内で案を出し合い、調理しています。クラフトワークでは、その時期に流行したものを作成しています。調理では、他の部活動の顧問の先生から依頼を受け、補食の提供を行いました。

その際、必要な栄養素や部員のアレルギーなど色々な面に気を配りレシピを考案、結果喜んでもらうことができました。



生徒の活躍

【全国大会】

○吹奏楽部
第48回全国高等学校総合文化祭「清流の国ぎふ総合文2024」参加

【東北大会】

○空手道部
第38回東北高等学校空手道選抜大会出場 男子団体組手

人事異動

※同窓会関係の先生方のみ(転出)

小野寺 智 教頭先生
(石巻北高等学校飯野川校(副校長)へ)

令和6年度進路状況(美人数)

(一)内は令和5年度

大学・短大	17	(17)
国立公立短大	1	(1)
私立大学	115	(96)
私立短大	10	(4)
専門学校		
専修・各種学校	24	(33)
看護・医療系	13	(21)
公務員	6	(9)
民間	2	(3)
その他	6	(5)
※卒業生徒数	194	(189)

長部 邦雄 事務部長
(東部教育事務所へ)
清水 孝 先生
(多賀城高等学校へ)
二階堂 まな 先生
(松陵支援学校へ)
佐藤 瑞穂 先生
(古川黎明高等学校兼古川黎明中学校へ)

(転入)
布施 孝介 教頭先生
(佐沼高等学校より)
橋本 光幸 事務室長
(聴覚支援学校より)
木村 多恵 先生
(総合教育センターより)
高橋 沙都子 先生
(北村小学校より)
相沢 由貴 先生
(石巻高等学校より)
遠藤 都杜 先生
阿部 麻衣 先生

事務局より

※同窓会の行事はすべて、皆様の会費で運営されております。
年会費 / 2,000円
終身会費 / 30,000円
なお、納入の際は郵便局、コンビニ、スマホ決済にて振込ください。
☆振込手数料は同窓会にて負担いたします。
☆75歳以上の会員の方にも振込用紙を同封させていただいております。
☆住所、氏名の変更・計報は、事務局又は学年幹事までご連絡ください。計報の連絡をいただいた方には同窓会から甲電を打たせていただいております。
ご協力をよろしくお願いいたします。
◆連絡先
〒986-0851 石巻市貞山3-4-1
宮城県石巻好文館高等学校
☆同窓会事務局直通 ☎0225-23-1359
(月・水・金 10:00~15:00)
☆学校・事務室 ☎0225-22-9161

計報

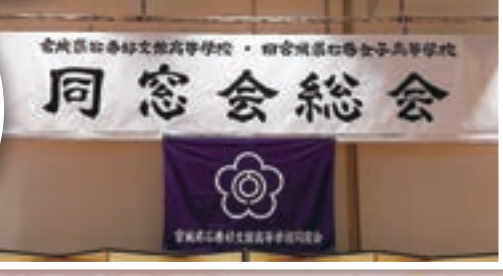
櫻田孝子様(元仙台支部長)
令和7年3月15日にご逝去されました。仙台支部長として長年にわたり、支部の発展にご尽力いただきました。心からご冥福をお祈り申し上げます。
萬代多美子様(会計監査)
令和7年3月21日、病氣療養中に亡くなりました。本部役員として生前のご活躍に感謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

謹んでお悔やみ申し上げます

年	月	日	氏名	卒年
年	月	日	遠藤 田村 玉子	昭和19年卒
年	月	日	熊本 木村 孝子	昭和26年卒
年	月	日	谷口 松谷 和子	昭和38年卒
年	月	日	阿部 岩淵 和子	昭和30年卒
年	月	日	斎藤 斎藤 よう子	昭和36年卒
年	月	日	鈴木 鈴木 元子	昭和20・21年卒
年	月	日	森 佐々木 子	昭和28年卒
年	月	日	大宮 佐藤 杏子	昭和14年卒
年	月	日	千葉 成澤 ふじ子	昭和19年卒
年	月	日	川崎 宮川 雅子	昭和27年卒
年	月	日	鈴木 原田 典子	昭和35年卒
年	月	日	佐々木 河村 邦子	昭和24年卒
年	月	日	佐藤 志摩 としみ	昭和24年卒
年	月	日	岡部 佐藤 美江子	昭和32年卒
年	月	日	山口 神山 たか子	昭和27年卒
年	月	日	石山 菅野 光子	昭和25年卒
年	月	日	小栗 西村 薫	昭和31年卒
年	月	日	渡辺 井上 洋子	昭和29年卒
年	月	日	速見 梅沢 みえ子	昭和22年卒
年	月	日	中村 佐々木 八重子	昭和19年卒
年	月	日	大村 千葉 美和子	昭和30年卒
年	月	日	小野寺 木村 洋子	昭和47年卒
年	月	日	佐々木 木村 照子	昭和18年卒
年	月	日	大星 佐々木 さつ子	昭和28年卒
年	月	日	佐藤 謙一	旧職 員
年	月	日	荒井 及川 智恵子	昭和21年卒
年	月	日	竹中 鎌田 麗子	昭和30年卒
年	月	日	高松 江刺 光子	昭和32年卒
年	月	日	相澤 邦子	昭和36年卒
年	月	日	庄司 石田 泰子	昭和27年卒
年	月	日	鈴木 木村 恵子	昭和23年卒
年	月	日	鈴木 木村 せつ子	昭和20年卒
年	月	日	森重 安倍 洋子	昭和27年卒
年	月	日	菊地 てるこ	昭和22年卒
年	月	日	深川 平塚 とし江	昭和46年卒
年	月	日	高橋 高橋 静子	昭和21年卒
年	月	日	橋本 佐藤 志美子	昭和19年卒
年	月	日	野中 江美子	昭和23年卒
年	月	日	石村 尾形 富貴子	昭和29年卒
年	月	日	早川 飛川 京子	昭和32年卒
年	月	日	高成田 田倉 ふみ子	昭和43年卒
年	月	日	遠藤 宮城 明子	昭和30年卒
年	月	日	高橋 目黒 幸子	昭和48年卒
年	月	日	白鳥 今井 慧子	昭和16・17年卒
年	月	日	小野寺 石川 れい子	昭和26年卒
年	月	日	日野 義三	昭和36年卒
年	月	日	横山 横山 恵子	旧職 員
年	月	日	柴田 山崎 よねこ	昭和24年卒
年	月	日	吉田 千葉 容子	昭和46年卒
年	月	日	長山 桜井 邦子	昭和21年卒
年	月	日	佐藤 滝川 英子	昭和42年卒
年	月	日	田村 遠藤 えり子	昭和45年卒
年	月	日	今野 丹羽 恵子	昭和27年卒
年	月	日	米倉 本木 絹枝	昭和43年卒
年	月	日	横田 高橋 文子	昭和31年卒
年	月	日	平塚 千葉 さちえ	昭和44年卒
年	月	日	三浦 林 茂子	昭和27年卒
年	月	日	人見 朋子	昭和17年卒
年	月	日	深倉 入見 幸子	旧職 員
年	月	日	櫻田 佐藤 美恵子	昭和41年卒
年	月	日	萬代 多美子	昭和35年卒
年	月	日	佐野 奥津 佑子	昭和45年卒
年	月	日	佐野 奥津 佑子	昭和32年卒



白梅一斉に
ほころぶ



同期の
集い

「さつき会」あれ、これ、
昭和27年卒
安住 慶子

今年、終戦後八十年。あの
年は小学校6年生。新制度の
中学を経て、高校生になりまし
た。思えば、困難と混乱を極め
た厳しい時代の学校生活であ
ったからこそ人を繋ぐ絆、生涯
を通じて支え合う友情の芽を
育む事ができたと思えるので
す。きつかけは同窓会の当番学
年。準備のため集りを重ねる間
に会の芯の部分が生づる。石
「さつき会」と名づけました。石

巻在住者が中心でしたが、同じ
頃仙台に支部が誕生しました。
平成2年の当番を終え、各々が
独立して集いを重ね、長寿の祝
いの年には、関東にも声がけし
松島、土湯温泉での泊つきの会
となりました。会場を固定して
いる石巻に対し、仙台は周辺の
会場を転々と30回以上の会を
重ね、石巻と合同も何度か。
大震災の後「コロナ禍」の後
と二度の立ちあがり。一度は
「さつき会」解散の宣言もしま
したが「終りたくない」と、有志
の会として途絶えることなく
令和5年を迎えました。ただ互
いの元気を確かめ、ちよつとした
食事を楽しくおしゃべりの会
その時間から得がたい癒しを
受けています。

喜寿の同期会

昭和41年卒
高橋 壽枝

私達が卒業後、同期会を開い
たのは次の通りです。

- (1)平成元年、本部総会の当番学
年(下の学年)。
グランドホテルでの同期会
103名参加。
- (2)平成9年、関東支部総会の当
番学年
ホテル日航東京(お台場)86
名参加。
- (3)平成16年本部総会の当番学
年。松島大観荘
85名参加。
- (4)平成19年、還暦を祝う会
箱根
- (5)平成29年、古希を祝う会
スパリゾートハワイアンズ。
38名参加。
- (6)令和6年5月21日



我らの佐々木和人先生

昭和54年卒
高橋 洋子

当時、3年7組担任であり
生物の先生であつた、和人先
生がなんと、昨年春、名譽あ
る旭日双光章を叙勲されま
した！宮城県弓道連盟の名も
つて50年以上も続けられ
誉会長、長年弓道の普及に努
められた功績が認められた
のです！また、先生のご尽力
で60歳を超えて弓道を始め
ました弓道愛好会が、昭和
61年に同好会、平成元年に
石女(現好文館)弓道部が誕
生しました。
朗報を受け、石巻グランド
ホテルで同級生の皆で受章
者として、弓道を追求する
数年ぶりにお会いし、近況を
心より祈念します。

に賑やかにおしゃべりは尽
きませんでした。これが最後
(?)うん、またあるかな。



編集後記

机を並べたわけではない
のに、同じ学び舎の卒業生、
同窓生というだけで、親近
感がわき、なぜだか共通の
話題で話が弾む。あの頃
の先生方は、キャラが濃
過ぎて、今でも当時のあだ名
で通じるし、思い出のひと
コマが蘇る。いつの時代も
いつの世も、学校に通った
その楽しく可笑しい思い出
やエピソードで、同期会も
同窓会も世代を超えてなぜ
か盛り上がる。
それが、同窓会の良いと
ころなのだ、いつも感じ
ています。
祖母が、母が、姉妹が、
そして、子どもたちが、同
じ校歌を歌いながら卒業し
た喜び。今年も、多くの方々に
ご寄稿いただき、会報白梅が
発行できましたことに、心
より感謝申し上げます。
木村 美保子

編集委員

- ・佐々木多佳子・平塚由美子
- ・内海奈保子・木村美保子
- ・相野谷恵美・吉田 美佳
- ・阿部 葉子・白井けい子
- ・石坂さゆり・長沼 静子
- ・土塩 寛子・品川 悦子
- ・佐々木美智子・大塚 直美
- 【当番学年代表】
- ・昭和58年卒 鶴岡 薫
- ・昭和59年卒 遠藤 陽子
- ・平成10年卒 千葉 裕子
- ・平成10年卒 茂木 聖美
- ・平成11年卒 遠藤 睦実



お問い合わせ
◆母 校 〒986-0851 宮城県石巻市貞山3-4-1
宮城県石巻好文館高等学校同窓会事務局
(旧宮城県石巻女子高等学校)
TEL 0225-22-9161~9163
◆同窓会室 TEL・Fax 0225-23-1359
E-mail: shiraume.dousoukai@gmail.com
月・水・金(午前10:00~午後3:00)
◆令和7年度総会当番学年
昭和59年卒 青木真理 遠藤陽子
平成11年卒 遠藤睦実 本間聖子
皆様のご参加を心よりお待ちしております。
当日、年会費も受け付けております。